

サンゴのコーナー、サンゴの絵本づくり講座、 サンゴのかるたづくり講座

沖縄県 恩納村文化情報センター

基本データ

所在地	沖縄県恩納村字仲泊 1656-8
職員数	7人
うち司書数	6人
蔵書数	80,080冊
利用登録者数	9,475人
年間貸出冊数	132,602冊 (児童用図書貸出数 45,558冊)

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】地域の課題解決、まちづくり

【活動のねらい】

- 資料や講座を通じて、村の重要な観光資源であるサンゴや、関連する自然環境の保全に対し、幅広く関心を持ってもらう。

取組・活動の概要

- 恩納村は2018年に「サンゴの村宣言」を行い、サンゴ礁をはじめとする自然環境の保護に力を入れている。この事業に伴い、文化情報センターでは以下の取組を行った。

(1) サンゴのコーナー設置

- サンゴに関する資料を集めた常設コーナーを2018年3月頃から設置し、村の事業の支援・PRを行っている。



サンゴのコーナー

(2) サンゴの絵本づくり講座

- 2017年12月～2018年3月の間、全6回の講座で、各受講者がサンゴや海の生き物をテーマにした絵本を制作した。講座参加者は計18人で、最終的に15の作品が完成。審査も行き、

大賞作品は出版・販売（『サンゴのしま』吉山佳子//作・絵）している。



サンゴの絵本づくり講座

(3) サンゴのかるたづくり講座

- 2018年11月に全2回の講座を行い、23人の受講者で『サンゴのかるた』（45組の絵札・読み札）を制作した。かるたは販売している。



サンゴのかるたづくり講座

取組・活動の工夫や特徴

(1) サンゴのコーナー

- 視聴覚資料や新聞など、幅広く資料を収集・展示している。

(2) サンゴの絵本づくり講座、(3) サンゴのかるたづくり講座

- 講座での成果物を村内の小中学校や学童クラブ等に寄贈し、教育現場等でのサンゴや海の環境保全に対する関心を促している。

取組・活動の成果や今後の展望

(1) サンゴのコーナー設置

- 関連資料をまとめておくことで、村職員等、利用者からのサンゴ関連のレファレンスに対応しやすくなった。

(2) サンゴの絵本づくり講座、(3) サンゴのかるたづくり講座

- 成果物の絵本をセンターの資料として登録・貸出している。
- 2018年7月に村で行なわれた「サンゴの村フェスタ」においてサンゴの絵本の製作者によるおはなし会を行なった。
- また、2019年7月の同フェスタでは、サンゴのかるた大会を行った。2020年1月にも、文化情報センターにてサンゴのかるた大会を行う予定である。
- 関連のイベントは今後も行う予定（絵本の出版など）である。

